2022　年度　　授業概要

科目名		健康靴と調整			授業の種類	実習	講師名		
授業回数	23回	時間数	45時間　（1単位）	配当学年・時期	整形靴科1年			必修・選択	必修

〔授業の目的・ねらい〕

足の疾患や変形について学び、それぞれのケースに適した調整方法などの知識と、調整技術を習得することを目的とする。また、健康靴の構造と加工方法・フットプリントの採取方法・情報収集の仕方を学び、フットプリントをもとに健康靴の調整・加工を進める技術を習得する。

〔授業全体の内容の概要〕

1日に１つの靴調整についてその適応・製作方法等を学び、完成させる。まず講師が講義をし、その後製作のデモンストレーションをした後、学生は時間内にその製作課題を完成に向けて製作していく。製作途中、または完成後に講師がチェック・評価を行う。本実習では達成目標である４つの靴調整方法を学び、最終日には時間内に課題を仕上げる製作試験を行う。

〔講師の実務経験〕

〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕

①代表的な４つの靴調整である「ロッカーバー・脚長差調整・ラテラルウェッジ・メディアルウェッジ」の製作ができる
②疾患に適した調整の判断ができるようになる
③フットプリントの採取・情報収集の手順を覚える
④健康靴の構造と加工方法を修得する

回数	講義内容
1	フットプリント／ロッカーバーが適応となる足の疾患・変形についての講義
2	底切り・ロッカーバーの製作
3	ロッカーバーの製作
4	ロッカーバーの製作
5	ロッカーバーの製作
6	フットプリント／脚長差調整が適応となる足の疾患・変形についての講義
7	脚長差調整の製作
8	脚長差調整の製作
9	脚長差調整の製作
10	脚長差調整の製作
11	フットプリント／ラテラルウェッジが適応となる足の疾患・変形についての講義
12	ラテラルウェッジの製作
13	ラテラルウェッジの製作
14	ラテラルウェッジの製作
15	フットプリント／メディアルウェッジが適応となる足の疾患・変形についての講義
16	メディアルウェッジの製作
17	メディアルウェッジの製作
18	メディアルウェッジの製作
19	メディアルウェッジの製作
20	試験
21	試験
22	試験
23	試験

【　準備学習・時間外学習　】

【　使用テキスト　】

書籍名	著者名	出版社
整形靴の基礎知識		JESC
配布資料		

【　単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）　】

授業時の製作物＋実技試験の合計点数で評価